

## 令和2年度労災疾病臨床研究事業費補助金

### 「医学的知見に基づく裁量労働を含む長時間労働者に対する適切な面接指導実施のための マニュアルの作成に関する研究」(180701—01)

研究代表者：堤 明純（北里大学医学部公衆衛生学単位）

#### 研究の目的

本研究は、過重労働を含む職業性ストレスによる健康障害を防止するために、海外も含めた医学的知見に基づき、多様な労働者に対して、キャリアの浅い嘱託産業医等でも、医師が適切に意見を述べることができる面接指導実施マニュアルを作成することを目的とする。

#### 研究方法

本研究では、文献調査を基にして作成したマニュアルを、推定利用者が参加する研修で実際に用いて、その有用性の評価を行って改良を重ね、研修方法も含めて教材を開発している。本年度は、マニュアル（初期版）の改良を行うとともに、マニュアルを使用して行う実際の面接のやり取りを示すビデオ教材、および、面接で留意すべき解説を示すビデオ教材を作成し、研修のみならず遠隔での教授や自学自習も可能な教材を作成することを目指した。

マニュアルおよびビデオ教材のシナリオは、精神医学的、精神医学的面接方法に関する観点からの検討を行なった。産業医面接を行わない場合の、他の産業保健スタッフによる指導や情報の提示、面接をまとめる際に上司や医療機関と連絡する手はず、紹介先医療機関を探す際の情報源等を盛り込み、医学的根拠を有するとともに面接指導に必要な産業保健スタッフや人事・ライン、事業場外専門家との連携も含む、事前・事後のロジスティクスについても参照できる実行しやすいマニュアルを模索した。さらに、裁量労働制者についても面接が行えるように情報を付加した。マニュアル全般について労働法規に詳しい弁護士のチェックを受け、法的にも遺漏のないマニュアル作成に努めた。

#### 研究成果

##### 1. マニュアルの有用性を高める模擬面接ビデオ教材の作成

キャリアの浅い産業医でも漏れなく面接を実施できることを目指して、下記のポイントに留意した高ストレス者面談のシナリオを作成した。

- 1) 高ストレス者面接が本人のために行われるという目的の明確化
- 2) 情報の守秘に関する説明
- 3) 高ストレスに合併しがちなうつ状態の症状確認
- 4) ストレス要因の確認と対処方法についての話し合い
- 5) 高ストレスのリスク要因になりうる性格要因の確認
- 6) 労働者に可能な自助に関する情報提供
- 7) 報告書の内容に関する確認

8) フォローアップに関する提案

9) 起こりうる定型的でない労働者の反応への対応

労働者の反応により産業医が異なる対応を求められる場面についてもシナリオに記すと共に医師面接のポイント解説をまとめた。

以上のシナリオを基に、約 22 分の模擬面接ビデオ教材と約 15 分の医師面接の解説を示すビデオ教材を作成した。単独で当該ビデオ教材を視聴しても、医師面接の流れや押さえておくべき重要なポイントがわかるような工夫を凝らした。マニュアルとビデオ教材を利用した産業医研修会の授業設計書を修正した。

教材コンテンツの拡充を図り、裁量労働者の事例を作成した。産業医に対する調査を行い、オンラインでの面談の留意点などを検討した。

## 2. 高ストレス者に対する医師による面接指導のマニュアルの改訂

限られた時間で過不足なく情報が聴取できるように面接指導に役立つ具体的な会話を盛り込んだ。裁量労働者の高ストレス者に対する面接について専門家から意見収集し、マニュアルの改訂に反映させた。さらに、受診勧奨を行う時に、スムーズに専門医療機関の紹介ができるように、参考サイトを紹介した。マニュアルは弁護士のレビューを受け、法律的におおむね問題ないことを確認した。

## 3. 高ストレス者に対する医師による面接指導実施マニュアル（改良版）の有用性評価

産業医研修会において、マニュアル（改良版）およびその添付資料の使用法の有用性を評価するための調査票を作成し、無記名式のアンケート調査を実施する準備を整えた。

## 結論

取りこぼしなく面接ができるような面接の行い方、重要項目の解説、裁量労働制が適用されている労働者への対応、抑うつ症状の確認等について説明や添付資料を追加するなど、産業医経験が少ない産業医でも、最低限の面接を行えるようなマニュアルの改良を行った。同時に、これまで研究分担者らが実施していた面接指導のロールプレイをあらゆる産業医研修会の場で再現できるようにするため、新たに面接指導に関するビデオ教材を作成した。

産業医面接を行わない場合の、他の産業保健スタッフによる指導や情報の提示、面接をまとめる際に上司や医療機関と連絡する手はず、紹介先医療機関を探す際の情報現等を盛り込み、面接指導に必要な産業保健スタッフや人事・ライン、事業場外専門家との連携も含む、事前・事後のロジスティクスについても参照できる実行しやすいマニュアルを模索した。

## 今後の展望

想定利用者であるキャリアの浅い嘱託産業医に、産業医研修会等において実際の研修を行い、改良したマニュアルの有用性評価を予定していたが、新型コロナウイルス感染症流行に伴う緊急事態宣言の下、産業医研修会が中止となったため、令和3年度も引き続き、産業医研修会の機会を得て、有用性評価を行う予定である。